

2020年度 長野県岡谷東高等学校シラバス

教科	家庭	科目	家庭総合	単位数	2	学年	2	コース	健康スポーツ 教養フロンティア
								必修・選択	必修
使用教材		教科書 家庭総合 自立・共生・創造 (東京書籍)							
		副教材 最新 生活ハンドブック家庭 資料&成分表 (第一学習社)							

学習目標

食生活・住生活に関する知識と技術を学び、高齢社会や福祉などの生活課題を主体的に解決するとともに、生活文化を継承・創造し家庭生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。
卒業後に自立して生活を営み、自己実現をはかるとともに、家族や地域社会の人々と支え合って生きようとする積極的な姿勢を身につけることを目標とする。

学習方法

1. 授業内容や課題に関する自分の考え等は、「授業学習プリント」に記入して、思考を深め知識を定着させる。
2. 実習課題には基本的に忠実に積極的に取り組み、基礎的・基本的な技術を身につける。
3. グループ学習では、人の考えに耳を傾けて的確に聞き取り、自分の考えを深めて適切に話す。

学習評価

○次の四つの観点に基づき、学習内容のまとまりごとに下の評価マトリクスにより評価を行い学年末に5段階の評定に総括します。

①関心・意欲・態度	「家庭総合・2年」の学習内容に関心を持ち、主体的に学習に取り組もうとしているか。
②思考・判断・表現	「家庭総合・2年」の学習内容に関する課題とその解決を目指して思考を深め、具体的な事例をふまえて適切に判断することができるか。また、その成果を実践できるか。
③技能	「家庭総合・2年」の学習内容に関心を持ち、主体的に学習に取り組もうとしているか。学習内容に関する基礎的・基本的な技術を身につけたか。
④知識・理解	「家庭総合・2年」の学習内容に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、それらが、家族・社会との共生、生活の自立、生活の創造へとつながっていくことが理解できたか。

評価方法\観点	評価の観点				備考
	①	②	③	④	
出席状況	◎				
授業学習プリント	○	◎		◎	
実習作品・実習記録			◎	○	
考査		○		◎	

※表中の◎は観点の中でより重視するポイントです

※それぞれの評価の観点はA、B、Cの三段階で評価します。

学習方法等のアドバイスなど

○授業学習プリント…板書や教科書を写すだけでなく自分の考えも記しておく。また、身の回りの整理整頓も学習の一環ととらえ、プリント類はファイルに綴っていつでも提出できるように管理すること。
○実習・実験…基本的に忠実に作業を進めて行くこと。「実習記録」の記入を自己評価とする。
家庭総合のまとめとして、卒業後の生活の自立をめざし、必要な知識や技術を身につけ、家族や社会の人々と協力し合って生きていくためのスキルを「家庭総合」から学習していきましょう。

年間学習計画

学期 時間数	学習内容	学習のねらい	学習活動 【評価方法】
1 学期 22単位時間	オリエンテーション 食生活をつくる <ul style="list-style-type: none"> ・ 食生活の課題 ・ 食事と栄養・食品 栄養と栄養素 <ul style="list-style-type: none"> ・ 炭水化物 ・ 脂質 ・ たんぱく質 調理実習 期末考査	・自分の食生活を見直し、健康で安全な食生活を営むことができるような知識と実践力を身につける。 ・日本の現代の食生活の課題・問題点を考える。 ・栄養素「炭水化物」「脂質」「たんぱく質」の種類と働きを理解し、それを多く含む食品の特徴を知る。 ・調理の基礎・基本を知り、実践する。	「授業学習プリント」 「実習記録」 「考査」
2 学期 30単位時間	食事と栄養 食品 <ul style="list-style-type: none"> ・ 無機質 ・ ビタミン ・ その他の食品 ・ 食生活の安全と衛生 ・ 食事計画 ・ 調理の基礎 調理実習 期末考査	・栄養素「無機質」「ビタミン」の種類と働きを理解し、それを多く含む食品の特徴を知る。 ・食品の賞味期限や取り扱いを知るとともに食品添加物、残留農薬などについて考える。 ・食中毒など衛生的な取り扱いについて知る。調理実習や食生活に生かしていく。 ・食事摂取基準および食品群別摂取量を知り、バランスの良い献立について考える。 ・調理の基礎・基本を知り、実践する。	「授業学習プリント」 「実習記録」 「考査」
3 学期 18単位時間	高齢社会を生きる <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢期を理解する ・ 高齢者の心身の特徴 ・ 高齢者を支える ・ これからの高齢社会 住生活をつくる <ul style="list-style-type: none"> ・ 住生活について考える ・ 住生活の計画と選択 ・ 住生活の文化と知恵 ・ これからの住生活 期末考査	・日本社会の課題である少子高齢化について、具体的に学ぶ。 ・高齢者の生活をみつめることにより、これからの高齢社会にどう対応するか、支えあう家庭・社会の両面から、高齢者福祉を考える。 ・世界の住居の特徴や日本の家屋の時代的な特徴を知る。 ・日本の気候や生活スタイルに合った住居の形や機能を考える。 ・健康で安全な住居を維持するための安全対策の方法を知る。	「授業学習プリント」 「考査」